

安全と環境を考えるニシオの広報誌

安全くん

2004

Vol-2

68



表紙写真：東大寺大仏殿
(奈良県奈良市)

とれ行け!! 安全くん

「5Sと点検、確実に!」の巻

●解説コーナー

「高所作業車の操作は「簡単」だからこそ落とし穴が…!」
「バッテリー式高所作業車の作業前点検項目(事例)」

●世の中 見たトコ勝負 VOL.8

「進化するブリクラ機」

●NISHIO TOPICS

日本経済新聞の文化面に毎月広告を掲載しています!

●お知らせ・情報コーナー

「油分・VOCs除去システム」



インターネットホームページ
「安全くんネット」もご覧ください。

<http://www.anzenkun.nishio-rent.co.jp/>



〈この広報誌は、再生紙を使用しています。〉

それいけ!! 安全くん

画 中村よしのぶ

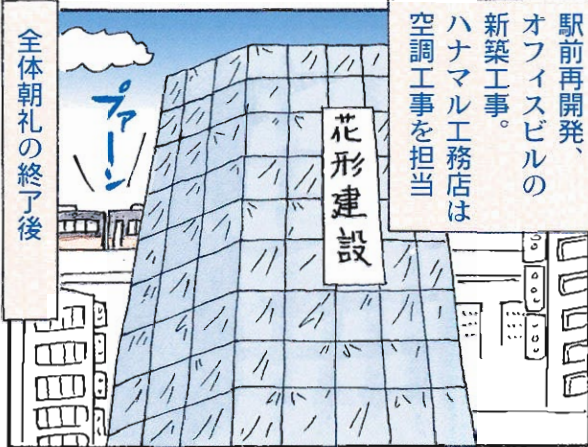
連載 その68



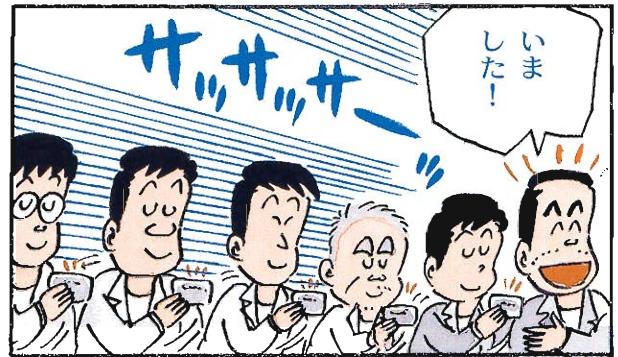
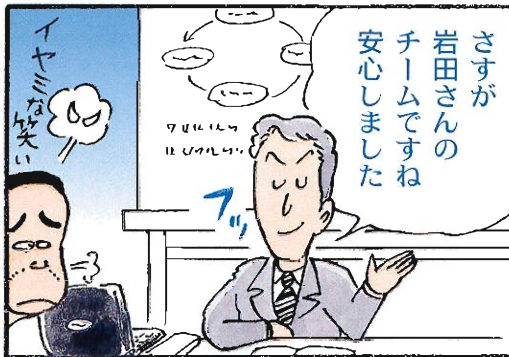
Info
motion

今回の表紙

「5Sと点検、確実に!」の巻



奈良 東大寺 大仏殿(シリーズでユネスコ世界文化遺産の日本編を表紙にしています)
1998年に東大寺、春日大社、春日山原始林、興福寺、元興寺、薬師寺、唐招提寺、平城宮跡の8遺跡群が
「古都奈良の文化財」として世界文化遺産に登録されました。



解説コーナー

高所作業車の操作は「簡単」だからこそ落とし穴が…!

■設備工事向けに使用されるようになった高所作業車は、これを操作することによって本来の仕事ができるのではなく、あくまでも高所での作業を安全に合理的に進められるために開発されたものです。よって、操作は極力簡単にできるようにしています。

しかし、逆に簡単すぎることから安易に扱い、本人も予想しない事故を引き起こしてしまう可能性があるのです。「特別教育」を受けていたとしても、新しい機械にはじめて乗るときには、その特性をつかむために練習も必要です。

◆レバーとボタン、フットペダルだけで、走行・上昇下降が可能。

①「覚えよう、慣れよう」という意識がなくても操作できるじゃないか…。

②ちょっと動かしてみても、間違ったら反対の操作をすれば済むことだ…。

●結果 → 咄嗟のときに、慌ててしまい間違った操作をする。→ 事故のもと!

◆〇〇しながら、の運転でミスが発生!

①上を向いて作業場所を確認しながら走行する。(機械の周辺に注意しない)

②片手で作業しながら、チョットだけ動かす。(神経は作業ポイントに集中したまま)

●結果 → 障害物に当たったり、乗り上げたり。「はさまれ」にも注意。

◆メーカー・機種により操作方式が若干異なる点にも注意が必要です。

①レバーの位置・役割・方向などが異なる機種があります。

②スピード感や操舵の切れ味、機体の大きさなどにより操縦感覚も様々です。

●注意 → 移動時は、慎重に! 段差があるところや壁面すれすれのところもご注意ください。



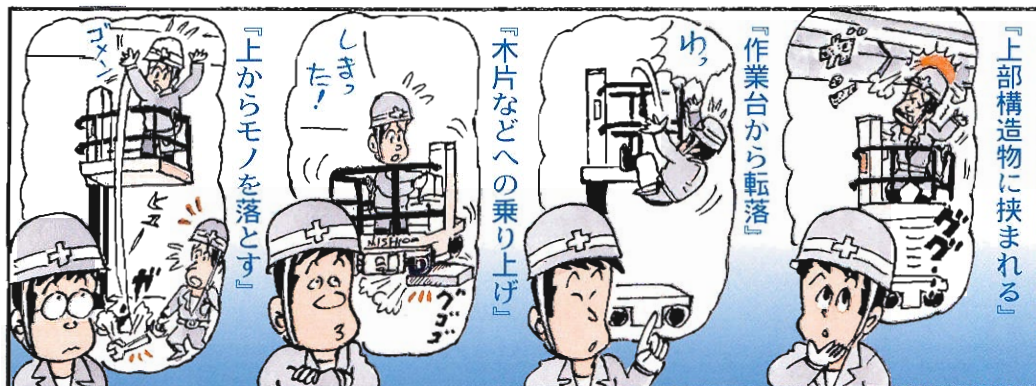
高所作業の危険予知

『上部構造物に挟まれる』

『作業台から転落』

『木片などへの乗り上げ』

『上からモノを落とす』



つまり現場において...

...以上のこと各自注意することわかったな!



安全帯の使用とゆつくり操作!

今日も安全に!



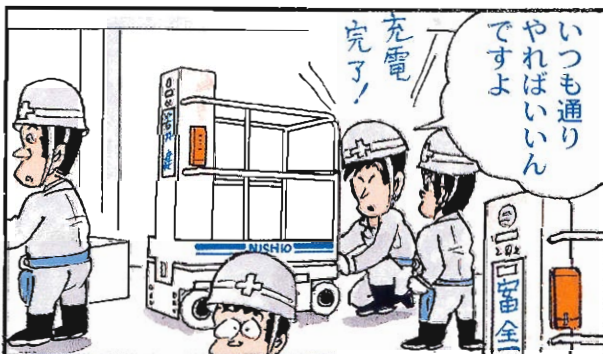
安全くと若井君、Aさん、Bさんが高所作業車の点検を始めると...

やばいな所長が来ているぞ! ボソッ



いつも通りやればいいんですよ

充電完了!



解説コーナー

バッテリー式高所作業車の作業前点検項目(事例)

第194条の27(作業開始前点検)

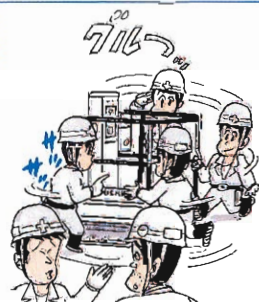
事業者は、高所作業車を用いて作業を行なうときは、その日の作業を開始する前に、制動装置、操作装置及び作業装置の機能について点検を行なわなければならない。

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| 1. バッテリー液量の確認 | 9. 作動確認 (上昇・下降) 下部操作 |
| 2. 充電器の作動状態確認 (ヒューズ・ブレーカー・各ランプ作動) | 10. 作動確認 (上昇・下降) 上部操作 |
| 3. ステアリングの作動状態確認 (タイヤ又はクローラ) | 11. 作動確認 (前進・後進) |
| 4. タイヤ 外傷の有無 | 12. 作動確認 (右旋回・左旋回) |
| 5. クローラ 外傷の有無及び張り | 13. 作動確認 (非常停止) |
| 6. 作動油タンクの油量及び油漏れ確認 | 14. 作動時の異音の有無 |
| 7. 油圧系統からの油漏れ確認 | 15. 非常時降下バルブ作動状態確認 |
| 8. キースイッチの作動状態確認 | 16. 作業台・手摺の取り付け状態確認 |
| | 17. ブザー及びホーン確認 |
| | 18. ブレーキの効き具合確認 |

<注意事項>

- 作業時は、必ず安全帽・安全帯を着用して下さい。
- 作業機から離れる場合、必ずメインスイッチを、FFにして下さい。
- 昼休み・休憩時間も、出来るだけ、充電して下さい。

- 作業中、異常を感じた場合、直ちに作業を中止して下さい。
- ★作業終了後は、必ず、充電して下さい。(翌日、機械が動きません。)



ガンさんのワンポイントレッスン

『あなたの経験的「マーフィーの法則」は?』

1949年にアメリカ空軍のエンジニア、エドワード・マーフィー氏が装置の操作に失敗し、「いくつかの方法があって、1つが悲惨な結果に終わる方法であるとき、人はそれを選ぶ。」とつぶやいたことがきっかけとなり、マーフィーの法則が誕生したそうです。これをもとに色んな人が日常的な様々な場面を「法則」にし、皮肉的な教訓(?)として流布されています。では、皆さんの職場の「マーフィーの法則」は?



まず、もともになった法則は、この3つです。

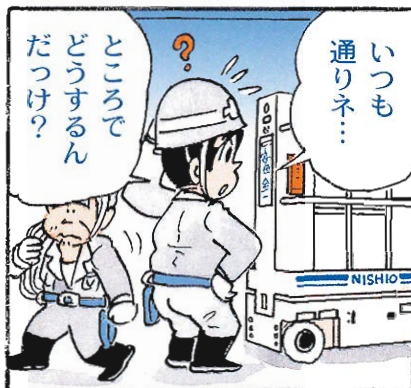
根本原理：失敗する可能性のあるものは、失敗する。

選択定理：複数の選択肢のうち、人は最悪のものを選ぶ。

万有引力：トーストのバターを塗った面が下に向けて落ちる確率は、カーベットの値段に比例する。

◆ハナマル工務店のメンバーが考えた「マーフィーの法則」

- ・安全パトロールは、安全帯を使っていない時にやってくる。
- ・「見つからない」と思った場所が、最もチェックされる場所である。
- ・「誰かがやってくれる」と放っておいた不安全箇所、危険な目にあるのは自分である。
- ・作業前点検をパスした日に機械トラブルは発生する。
- ・無理な姿勢で行った作業は、さらに無理な姿勢をしないと戻れなくなる。
- ・なかなか覚えられなかった現場のスローガンは、次の現場で口ずさめるようになる。
- ・忘れた工具を取りに戻る時間の長短は、作業ミスを起こす確率に比例する。



SAFETY CHECK

セーフティ
チェック

屋内系高所作業車の作業前点検

バッテリー式高所作業車は、作業前点検を行う際手順や措置を誤ると大きな事故を招きます。特に点検中は誤作動も予測されますので他の作業員が周囲に近づかないよう注意してください。

◇安全点検のポイント

作業前点検

目視により外観の損傷、摩耗や足回りでの亀裂や偏摩耗がないか確認してください。試運転は必ず下部操作から行ってください。作業床を昇降させた状態で点検作業を行わねばならない機種は、必ずマスト部に安全支柱をセットし不意の作業床落下による事故を防止すること。上部での操作は、安全帯を着用してください。

車両を動かす際は、周囲を確認し車両の前後方向確認を忘れずに。

作業終了後の確認事項

翌日の作業に備え、充電前にバッテリーの液量を確認し不足の場合は追加してください。作業前や作業中にバッテリー液を足すと比重が薄まり能力が極度に低下する恐れがあります。

最後に充電器が確実に作動しているかを確認してください。キーは、所定のルールに従って返却してください。





解説 コーナー

「質のよい眠りをたっぷりと」

「春眠 暁を覚えず」とは、中国の詩人・孟浩然の言葉。春は寝心地がよく、夜が明けてもなかなか起きられない。昼間も眠気に襲われる・・・こんな経験はありませんか？最近、話題の病気「睡眠時無呼吸症候群」ではないにしても、睡眠不足に悩み、居眠りする人が増えているそうです。そこで昨春、厚生労働省の睡眠指針検討会では「快適な睡眠のための7箇条」を策定し、睡眠に問題のある方に奨めています。

●快適な睡眠のための7箇条

- ①快適な睡眠でいきいき健康生活
定期的な運動習慣で熟睡を。
- ②睡眠は人それぞれ
自分に合った睡眠時間があり、8時間にこだわらない。
- ③快適な睡眠は自ら創り出す
睡眠薬代わりの寝酒は、睡眠の質を悪くする。
- ④眠る前に自分なりのリラックス法を
軽い読書、音楽、ストレッチ、香り、ぬるめの入浴等で寝つきよく。
- ⑤目が覚めたら日光を取り入れる
同じ時刻に毎日起床。早寝が早起きに通じる。
- ⑥午後の眠気をやりすごす
20～30分の短い昼寝で午後の眠気をやりすごし、リフレッシュを。
- ⑦睡眠障害は専門家に相談
睡眠障害は「体と心の病気」のサインのこともある。





SAFETY CHECK セーフティチェック

ロータリーバンドソーの安全 ～ 切断作業の危険 ～

配管の切断に使用されるロータリーバンドソー。ポータブルタイプは手軽さの反面、使い方を誤ると危険です。作業の安全とトラブル解決ポイントをまとめてみましょう。

□切断作業の危険 “刃” が命取り？！

早く切断しようとしてバンドルに荷重をかけると、モータがロックし帯のこが破損する原因となります。また、切断中にロックしたらスイッチを切り運転を停止させましょう。電源にも注意が必要です。規定値を超える電圧で使用すると回転が速くなったり、モーターや制御装置焼損、破損およびけがの原因です。

□日常点検とトラブル解決

使用前の点検は①外観（損傷・凹み）②刃の取り付け（刃欠け・ヒビ）③ギヤオイルの量④セフティカバー⑤電源コードを確認してください。点検中は電源プラグを差し込まないこと。

切断時のトラブルは、材料に適した帯のこの選択や切断荷重、周速の調整ミスが主です。その症状として、①帯のこが材料にくい込む。②切断精度が悪い③刃先のかげが発生。また、切断時の振動が大きい場合、帯のこが刃欠け、もしくは駆動用チェーンが伸びている可能性があるので調整してください。



